

授業概要

小学校から英語教育が取り入れられ、さらには保育園や幼稚園でも一定レベルの英語力を持っていることが要請される時代となっている。保育園にインターンシップで参加した学生の体験を題材としたテキストを用いて、卒業後の進路選択のときにプラスとなる英語力の養成を目的として指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション
第2回	英語で自己紹介（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第3回	英語で自己紹介（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第4回	英語で子どもたちと遊ぶ（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第5回	英語で子どもたちと遊ぶ（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第6回	英語でお出かけしよう（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第7回	英語でお出かけしよう（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第8回	これまでのまとめと復習
第9回	英語で水遊び（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第10回	英語で水遊び（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第11回	英語でパンケーキを作る（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第12回	英語でパンケーキを作る（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第13回	英語で読み聞かせ（1）ウォームアップ ポキャブラリーチェック
第14回	英語で読み聞かせ（2）リーディング・リスニング・オーラルプラクティス
第15回	これまでのまとめと復習
第16回	筆記試験

到達目標

幼児教育あるいは小学校での英語教育に対応できる基礎的な英語力を養成する。

履修上の注意

教員として働くためには、資格だけではなく、能力が必要である。今後ますます英語教育が重視される教育現場に身を置くことになることを認識して、真面目に取り組んでもらいたい。授業には英和辞典（電子辞書でもよい）を持参すること。

予習復習

英和辞典を用いて語彙、表現を事前に調べておくこと。テキストには音声CDが付属しているので、予習復習として繰り返し聴き、発音の練習をしておくこと。

評価方法

担当教員によって多少の異同はあるが、予習・復習の有無、随時行う小テスト、課題の提出などを受講態度とし、筆記による定期試験の結果と合わせて評価する。

学期末試験 70% 受講態度 30%

テキスト

『保育英語』成美堂 赤松直子 2400円

授業概要

この授業は、これまで培ってきた英語の基礎力の確認、苦手分野の補強をして、大学での英語の学習をする上での土台となる英語力を養成する再履修科目である。

各単元では、短期留学生のニュー・ヨークでの日常を描いたスキットを通して、基本的な文法事項を確認しながら、英語を学習することによって、これまでの英語の力を補強し、英語の基礎力向上を目指し、講義する。

授業計画

テキストの項目に沿って、以下の文法事項を学習する予定である。なお、授業の進捗により学習内容に変更が加えられることがある。

第1回	イントロダクション：授業の概要、成績の評価方法などの説明
第2回	Scene 1 It's so Nice to Meet You! 挨拶をする / スキットの学習
第3回	Scene 1 It's so Nice to Meet You! 挨拶をする / be 動詞と一般動詞
第4回	Scene 2 Is He a Popular Professor? 自己紹介をする / スキットの学習
第5回	Scene 2 Is He a Popular Professor? 自己紹介をする / 疑問文と否定文
第6回	Scene 3 He Showed Me "a" Way. 感想を言う / スキットの学習
第7回	Scene 3 He Showed Me "a" Way. 感想を言う / 現在形と過去形
第8回	中間試験、第1回目から第7回目までの復習と補足
第9回	Scene 4 For Here or To Go? 注文をする / スキットの学習
第10回	Scene 4 For Here or To Go? 注文をする / 可算名詞と不可算名詞
第11回	Scene 5 She Is So Beautiful. お願いごとをする / スキットの学習
第12回	Scene 5 She Is So Beautiful. お願いごとをする / 代名詞
第13回	Scene 6 Catching a Cab 場所を説明する / スキットの学習
第14回	Scene 6 Catching a Cab 場所を説明する / 前置詞
第15回	第9回目から第14回目までの復習と補足
第16回	定期試験（筆記試験）

到達目標

文法、英語によるコミュニケーションの仕方などを学ぶことによって英語の基礎力を身につけて、今後の大学で英語を学習するための力を養う。

履修上の注意

授業には必ずテキスト、ノート、英和辞典を持参すること。持参しなければ出席とはみなさない。なぜこの再履修科目を履修しなければならなくなったのか、各自振り返った上でこの授業に臨んでいただきたい。

予習復習

英語の基礎力を身につけるために、毎回予習、復習をかならず行うこと。予習、復習を怠らなければ、英語の力は確実に向上していくはずである。

評価方法

提出物（30点）、筆記試験（中間試験、定期試験）（70点）によって総合的に評価する。詳しい評価方法については初回の授業で説明するので必ず出席のこと。なお、定期試験ではリスニングという形式で問題を出題することはない。

テキスト

土屋武久、本多吉彦、Braven Smillie *Hello New York!: Learning Basic English with Aya in 15 Episodes* (金星堂)